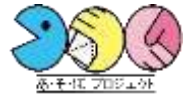




玖波中だより

No. 1 4



大竹市立玖波中学校 令和6年12月16日

学校教育目標 『『なりたい自分』に向かって、挑戦する生徒の育成』

発行責任者 小田 大介 文責 藤川 健二

玖波中学校ドリームプロジェクト

「私の大切にしていること」高野 紋子さん

12月10日(火)にSCSK(株)高野紋子さんをお招きし、講演会を行いました。宮島ローイングクラブに所属し、「杭州アジアパラ競技大会(2023年)」、「2024 パリパラリンピック競技大会予選」出場など、ローイング競技の日本を代表するパラアスリートです。現在は「2028 ロサンゼルスパラリンピック」出場を目指し、厳しい練習に取り組んでいます。ちなみに、私の世代では「ボート競技」「漕艇競技」と言った方がイメージしやすいかもしれません。

高野さんは大学生の頃、網膜色素変性症と診断され、現在は視力がほとんどない状態です。そんな高野さんとローイングの出会いは浅く、講演では「私の大切にしていること」と題し、中学・高校時代の夢やこれまでのこと、現在の夢を丁寧に話してくださいました。

私が最初に会った時の高野さんの第一印象は、「明るい」「前向き」「ポジティブ思考」でした。講演の中でも随所に「明るく、前向きな人だなあ」ということを強く感じることができました。

講話の内容では、高野さんから学ぶべきことは沢山ありましたが、立場が違うので、何を「学んだ」か生徒の皆さんとは、少し違うかもしれませんが、中でも次の3つを学ぶことができました。

1 会話をする

- ・会話をするということは、事象や事実を伝えることだけではない。会話をするということは、自分たちの思いを伝え合うこと。そのことで、相手の良さや自分の良さに気づくことができる。集団が成長する。

2 分からないことは、邪魔なプライドを捨て「分かりません」という

- ・分かってないことを分かった振りをして、「はい」「はい」では永久に分からない。教えてもらえたら「なるほどなあ」と感じるすることができる。分かったことが増えれば、それを OUT PUT することができる、自分のためにもなる。

3 仲間を大切にする

- ・分かってくれる人が一人いれば心強くなり、安心ができる。仲間がいるから頑張ることができる。

1~3の共通点は「人とのつながり」と感じました。今の私は、人と繋がろうとしているのか、繋げようとしているのか、本当の仲間とは何なのか考えさせられる講演となりました。

練習風景(廿日市市 於)



杭州アジアパラ(開会式)



杭州アジアパラ(ローイング会場)





- ・人との出会いを大切に
- ・挑戦してほしい
- ・できないことはいいけど、
できることは精一杯やろう



講演会後の生徒の学びから

- ・視力が低下する病気だと分かって、その時を大事に過ごして、新たなことに挑戦されている姿がかっこいいなあと思いました。ローイングという競技はあまり知りませんでしたが、幅広い世代で楽しまれており、日本でも競技人口が多く、身近なものだと分かりました。(3年)
- ・私はローイングという競技を知らなかったので、高野さんのお話がとても新鮮でした。また、日本代表選手になるまでに沢山のひとと出会ったことを聞き、人生は何が起こるか分からないからこそ、今できることに全力で向かう人間になりたいと思いました。(3年)
- ・パラスポーツはとても大変なのにも関わらず、努力してきた高野さんは凄いなあと思いました。パラスポーツを通して学んだ、「仲間の大切さ」「挑戦することの大切さ」などとても勉強になりました。僕自身失敗を恐れて挑戦できずにいたり、分からないことを聞かずにいたりしていたので、今日のお話をしっかり活かしていきたいと思いました。(3年)

- ・最初から最後まで明るく元気で細かいことまで丁寧に教えてくださいました。お話の中で一番印象に残ったのは、ローイングは今まで経験したことがなかったにも関わらず、パラアスリート選手になられたことです。視力が低下すると大変なことや苦労も多いと思いますが、「楽しい」とおしゃっていたのがすごく格好良いなあと思いました。「人との繋がり大切さ」「挑戦の重要性」など、沢山のことをこれからの学校生活に生かしていきます。(2年)
- ・僕は、今までローイングというスポーツを見たことがなければ聞いたこともありませんでした。しかし、お話を聞いて体が不自由な人も、自分にできるスポーツをしている人も多いということが分かりました。(2年)
- ・病気の宣告を受け、徐々に目が見えなくなって保育士になることを諦めた時は、とてもつらかったと思います。でも、ローイングとの出会いで、世界で活躍していることを聞き、凄いと思いました。お話の中で「人との出会いを大切に」と教えてくださり、成長していくためには、支え合いが必要だということを感じることができました。これからは、周りをよく見て、支える人、頼られる人どちらにもなれるよう頑張っていきたいです。(2年)

- ・自分の障害を受け入れてローイングという好きなことを増やすことができることから、とてもポジティブなんだなあと感じました。また、初めてアジアパラリンピック大会に出たということからも、ものすごく努力したんだなあと感じ、僕も頑張ろうと思いました。「人との関わりを大切に」「できることを精一杯頑張る」というアドバイスを意識して生活していきたいです。僕も分からないことは、しっかり「分からない」と言えるようにしていきたいです。(1年)
- ・高野さんの明るい性格が、皆を笑顔にしているんだなあ講演会でも、とても伝わってきました。ローイングの楽しさが、言葉や映像を通して伝わってきました。楽しいだけでなく、大変なことも多いのだろうなあと思いました。私も日々チャレンジすることが、大切だと思いました(1年)
- ・目の病気と聞いても、「自分は何もできないことがない」と思うのではなくローイングという志を持たれたことに、とても憧れました。これから、僕も、できない、やらないじゃなく、挑戦したり、できることを一生懸命頑張ったりしたいと思いました。(1年)